

御朱印とは

- 御朱印と巡礼の成り立ちと現状 -



御朱印はもともと、お経を納めた証として授けられた「納経朱印」に始まり、江戸時代に庶民の巡礼と共に広まりました。今は華やかで多様な御朱印が人気ですが、もとは信仰と祈りの証です。御朱印図鑑を通して、その由来や裏話を知れば、現代の御朱印巡りが、もっと味わい深いものになります、ふるってご参加ください。

令和7年 **10** 月 **21** 日【火】

時 間 17:00～18:30 (30分前受付開始)

参加費 無料

定 員 先着60名(事前申込不要)

会 場 浄土宗大阪教区教務所 4F
〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪1丁目3-19

問い合わせ 安楽寺 中川澄高 080-6102-6960

講師

やぎ とおる

八木 透 氏

佛教学部歴史学教授

京都府京都市祇園祭鉾町の出身。1978年に同志社大学文学部文化学科卒業後、佛教学部大学院文学研究科に進学。日本の民俗行事や芸能、祭祀組織の構造を研究。主な著書に『婚姻と家族の民族的構造』『京のまったりと祈り—みやこの四季をめぐる民俗』『日本の民俗信仰を知るための30章』がある。

